

雀宮地域の文化財

雀宮地域は文化財の豊富な歴史の里である



発行 雀宮郷土史研究会
協賛 雀宮地区まちづくり推進協議会

雀宮郷土史研究会 創立30周年記念事業

— 雀宮地域の歴史 —

歴史の里「雀宮地域」は、数多くの文化財が存在し、そこには太古の浪漫と、歴史の静かな歩みを感じ取ることが出来る。数千年に亘る歴史と風土の流れは、今日の優れた文化と、豊かな生活基盤を造りあげてきた。

雀宮地域は、縄文時代から弥生時代に亘る多数の住居跡が分布し、古墳時代の豪華を物語る大小数十の古墳と、奈良時代の東山道及び上神主・茂原官衙跡等は、古代下野の国の政治・経済・文化の中心的役割を果たしてきた歴史の証明である。

中世の雀宮地域は宇都宮藩の支配下となり、藩の財政基盤と住民の食料供給を担う御田五石の役割は大きく、今も豊かな穀蔵を維持している。

更に、徳川家康の天下統一に伴って、五街道の一つとして日光街道が開設され、雀宮宿が形成されたが、周辺の村々は助郷として一体的に発展してきた。徳川時代の初めには大部分が宇都宮藩に属していたが、後には多くが高徳藩・間宿藩の領地となり、雀宮宿は真岡代官の支配下となって、明治維新を迎えた。

このような歴史の流れの中で、我々が今日、平和で豊かな生活を営むことができるのは、先人達が営々として築き上げてきた貴重な歴史の歩みの上に、その恵みを楽しみながら生きる喜びを、強く感じている。

雀宮郷土史研究会創立30周年を記念して、この「雀宮地域の文化財」を発刊する事になりました。市民の皆様にご覧戴く事を心からお願ひ申し上げます。

茂原観音（穴穂山教王院普門寺）



胎仏右



聖観世音菩薩立像
(市指定文化財)



胎仏左



雀宮地域の文化財 位置図

雀宮地域の文化財一覧

【表】主な神社・寺院

番号	地区	名称
1	雀宮	雀宮神社
2	上御田	御田神社
3	中島	中島神社
4	東谷	東谷神社
5	下反町	高尾神社
6	羽牛田	高籠神社
7	雀宮	大通山地福院正光寺
8	中島	東光山西光寺
9	茂原	茂原観音 「市文」 (穴穂山教王院普門寺)
10	下横田	高尾神社
11	御田長島	高尾神社
12	茂原	高籠神社
13	針谷石川	高籠神社
14	針谷中坪	八幡神社
15	針谷上坪	熊野神社



【裏】その他の文化財

番号	地区	名称
16	雀宮	仮本陣芦谷家
17	〃	福寿地蔵尊と比丘尼仏
18	〃	日光街道旧道
19	〃	綾女稲荷神社
20	〃	観音堂
21	〃	本陣小倉家跡
22	〃	太子堂
23	〃	あらだて地蔵尊
24	〃	牛塚古墳跡
25	〃	板碑と男性埴輪
26	宮の内	十里木古墳の石室
27	〃	三日月神社
28	上御田	西国三十三観音
29	中島	日蓮宗布教塔
30	〃	稲荷社と青面金剛
31	〃	琴平塚古墳
32	東谷	笹塚古墳 「県史」
33	〃	双子塚古墳
34	〃	松の塚古墳
35	〃	中坪の野仏
36	〃	東山道跡
37	下反町	十九夜塔
38	〃	白衣観音
39	下横田	河原孫八不動尊
40	〃	子育地蔵尊
41	〃	観音堂
42	〃	五輪塔
43	〃	慈眼寺跡
44	御田長島	鈴木源之丞供養塔
45	〃	観音堂
46	茂原	猿原遠江守家次の墓
47	〃	路傍の石仏
48	〃	権現山古墳
49	〃	大日塚古墳
50	〃	愛宕塚古墳
51	〃	上神主・茂原官衙遺跡「国史」
52	〃	立場茶屋跡
53	針谷	薬師堂
54	〃	針谷分校跡
55	〃	永盛寺跡
56	〃	針谷新田二号墳
57	若松原	地神・開拓記念碑
58	兵庫塚	横田城址
59	〃	安産稲荷神社
60	西川田	塚山古墳群 「県史」

市文と針谷宇都宮市指定文化財、「県史」とは栃木県指定文化財、「国史」とは国指定文化財
表紙 雀宮神社と朝顔



1 雀宮地区 雀宮神社
雀宮神社は、長徳3（997）年の創建と伝えられ、祭神は豊城入彦命の三世の孫御諸別王である。正徳3（1713）年には、時の天皇から金文字・金緑の勅額「雀宮」を賜った。



2 上御田地区 御田神社
御田神社は、大日塚古墳の墳頂に建てられたもので、近くにあった天台宗満蔵寺の御本尊大日如来が本地と伝えられ、今も「大日様」と親しまれている。祭神は大山祇神である。



3 中島地区 中島神社
中島神社は、大日様とも言われ、神仏混淆（習合）の名残を留めているが、祭神は大山祇神である。この神社では「あなば様」という大杉神社の祭りが、今に伝えられている。



4 東谷地区 東谷神社
東谷神社は、別名「高尾さん」と親しまれ、祭神は高籠神で、水を司る神である。本殿の向拝には昇り龍と下り龍の彫刻がある。



5 下反町地区 高尾神社
高尾神は、通称「鎮守様」と呼ばれ、創建は鎌倉時代の建暦元（1211）年と伝えられ、祭神は天之水分神である。流造の本殿の彫刻が素晴らしい。



6 羽牛田地区 高籠神社
高籠神社の創建は建暦元年であって、祭神は天之水分神である。通称「鎮守様」と呼ばれ、境内には路傍の石仏が集められ、大切に保存されている。



7 雀宮地区 大通山地福院正光寺
正光寺は、石田感応寺の末寺で天台宗に属し、御本尊は2尺5寸の阿彌陀如来である。開基は正徳5（1715）年と伝えられ、現在の伽藍は昭和44年地元檀家・篤志家による再建である。



8 中島地区 東光山西光寺
西光寺は、天台宗の寺院で、寛永2（1625）年大僧都裕弁の開基と伝えられ、御本尊は5尺5寸の阿彌陀如来である。境内には如意輪観世音菩薩とシダレザクラがある。



9 茂原地区 茂原観音（穴穂山教王院普門寺）
茂原観音（穴穂山教王院普門寺）は、承安4（1174）年猿原遠江守家次が、丹波の安太寺の御本尊を迎え、開山した。真言宗で御本尊は聖観世音菩薩（市指定文化財）であり、下野三十三観音二十番札所である。



10 下横田地区 高尾神社
高尾神社の祭神は、高籠神である。平成2年に本殿・拝殿を焼失したが、その秋には再建された。



11 御田長島地区 高尾神社
高尾神社の祭神は、高籠神であるが、その縁起は不明である。この神社には珍しい「茅の輪」くぐりや、花屋台が村中を練り歩き、神田囃子を披露したり、花火や和傘踊りも伝承されている。



12 茂原地区 高籠神社
高籠神社の創建は、建暦元（1211）年の鎌倉時代であり、祭神は天之水分神である。



13 針谷石川地区 高籠神社
高籠神社の祭神は、日本武尊である。往古は石川神社と称していたが、室町時代の寛正2（1461）年に生田内匠が日本武尊を祭祀した。その後高籠神社と改称した。



14 針谷中坪地区 八幡神社
八幡神社の祭神は、磐田別命である。平安時代の嘉保4（1094）年源義家が清原武衡を征伐した際、ここに立寄り1社を設けて、磐田別命を祭祀した。ここに立寄り1社を設けて、磐田別命を祭祀した。



15 針谷上坪地区 熊野神社
熊野神社の祭神は、伊弉諾尊である。戦国時代の元龜2（1571）年紀伊の国の熊野神堂を勧請して、1社を創建された。